

第3回恵那南地区中学校再編委員会 平成27年7月28日(火) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・現地視察を通じての感想
 - ・再編において配慮すべき事項等
 - ・グループ討議
3. その他

◇第3回の概要

恵那南地区の中学校5校の現地視察を7月13日(月)に行い、その感想を出していただきました。

その後、再編において配慮すべき事項として事務局よりシミュレーションを作成し、想定される距離、時間、方法について資料を提出しました。

グループ討議では、各地域で『通学方法・通学時間』をテーマにワークショップを行いました。



【グループ討議の様子】

◇各グループからの発表内容（一部抜粋）

- ・スクールバスになった時に、どこかにバス停を設けてそこに集合していくとなった場合は、自転車置き場の設置が必要。
- ・明知鉄道は通学にふさわしいのか。高校生が乗るのに単線でカバーできるのか。悪天候時の対応をどうすべきか。（雪、凍結、明知鉄道の運休。自転車事故。）
- ・通学時間を短縮するには、路線区間を整備する。場合によっては新たな道路の整備。部活動の時間をしっかり取れるように通学時間を配慮。
- ・通学に体力づくりを兼ねて徒歩の時間を確保。
- ・新設する場合は、明知鉄道の駅から1.0km以内が望ましい。
- ・歩道の整備が必要。
- ・一番遠い生徒に何が出来るのか。
- ・冬季の通学における安全対策。緊急時の通学方法。

◇総合計画審議会委員長からのご指導

- ・教える先生方の集団により、教育を与える力量が磨かれるという視点が教育論理では必要。
- ・結論を先送りするべきではない。今ある問題はいま解決するという姿勢が生徒に対する責任。
- ・生徒数が急激に減少することから、10年後も通用する形を念頭に置いて地域にメッセージを出すべき。
- ・地域の違う生徒が一緒にいることによって双方が磨かれるということが中学校期の成長にはすごく大切。

◇第4回恵那南地区中学校再編委員会

9月9日(水) 19:30~

(岩村振興事務所 2階大会議室)